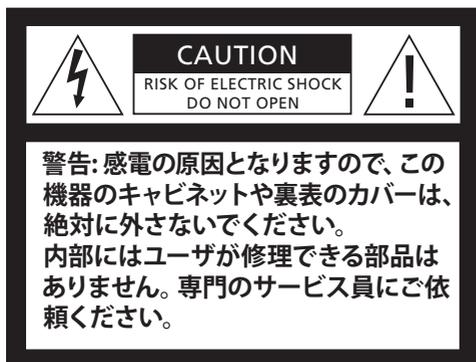


# BeoLab 11

ガイド

**BANG & OLUFSEN**



警告: 火災や感電の原因となりますので、水がかかる場所や極端に湿度の高い場所で、この機器を使わないでください。また、花瓶など液体が入った容器は、この機器の上に置かないでください。

この機器と電源を完全に切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。接続する時は、抜き差しがしやすい場所にあるコンセントを選んでください。



正三角形の中に稲妻が入った左のマークは、この製品の内部で、感電の危険をもつ絶縁されていない高電圧が、発生する可能性を示しています。



正三角形の中に感嘆符が入った左のマークは、この製品の取扱説明書の中に、操作と保守に関する重要な情報が含まれていることを示します。

以下のページで説明されている通りに、このサブウーファーの設置を終えたあと、システム全体を電源に接続してください。このサブウーファーのインジケータライトが赤く点灯し、スタンバイ状態になったことを示します。このサブウーファーは、使用していない場合も、常にこのスタンバイモードを保つよう設計されています。

**注意!** このサブウーファーは、内蔵のアクティブスピーカーユニットがオーバーヒートしても問題がないよう設計されています。大音量で長時間演奏を続けると、サブウーファー内の保護回路が自動的にオンとなります。

**スイッチのオン/オフ - インジケータ**  
お使いの Bang & Olufsen システムのスイッチを入れると、このサブウーファーも同時にオンとなります。赤いスタンバイライトが緑色に変わり、スイッチが入ったことを示します。

システムのスイッチを切る、あるいはサウンドをミュートすると、インジケータライトがただちに赤に戻り、このサブウーファーが使われていないことを示します。

#### サブウーファーの保護

内蔵アクティブスピーカーユニットがオーバーヒートすると、このサブウーファーはただちに音量レベルを落とします。ユニットの温度がある程度下がれば、音量レベルもゆっくりと通常に戻ります。もし大音量での演奏を長時間続けると、このサブウーファーからのサウンドは完全にミュートされます。

サブウーファーのサウンドがミュートされると、インジケータライトはオレンジ色に変わります。

演奏を再開するには:

- > サブウーファーを電源から切り離します。
- > アクティブスピーカーユニットが冷めるのを待ちます。
- > サブウーファーを再び電源に接続します。

もし、同じ症状が繰り返されるようであれば、Bang & Olufsen ストアにご連絡ください。

**注意!** 大音量の再生音を長時間聞き続けると、聴力が損なわれる可能性があります。



#### このサブウーファーのクリーニング

ホコリなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。油污れやしつこい汚れなどは、台所用等のマイルドな洗剤を薄く溶いた水と、柔らかな布を使い拭き取ってください。

このサブウーファーのクリーニングに、アルコールなどの溶剤は絶対に使わないでください。

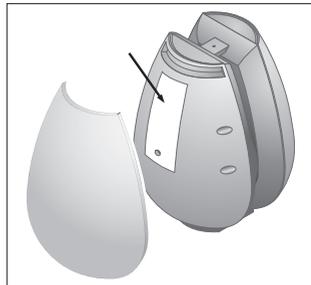
## このサブウーファーの設置

以下の手順をお勧めします:

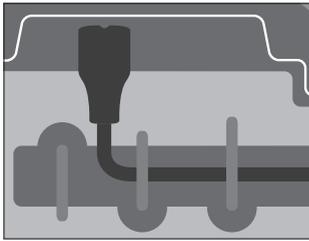
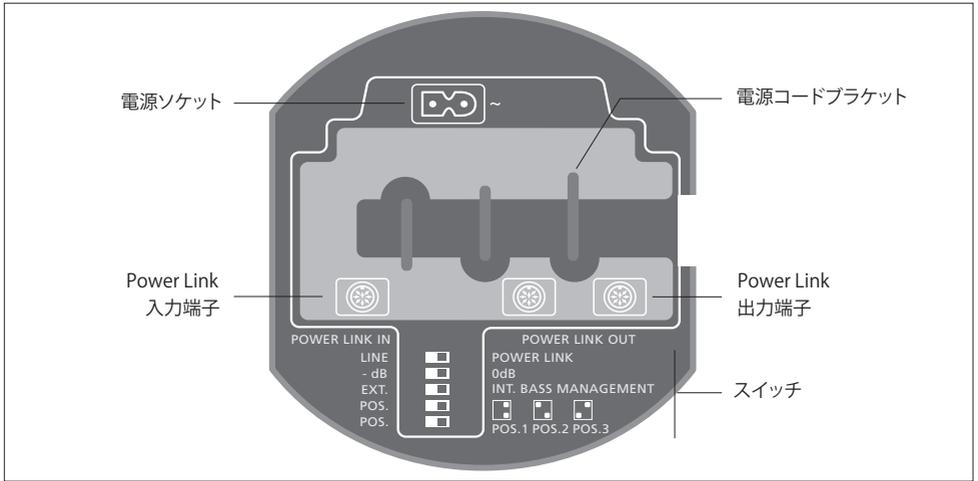
- システム全体を、電源から切り離します。
- ‘使用するセットアップにこのサブウーファーを適合させる’ (8 ページ) で説明されている通りに、このサブウーファーを設置します。オプションのアクセサリーを取り付ける場合は、アクセサリーに付属のガイドを参照してください。
- スイッチ類を、正しい位置に設定します。詳しくは、‘使っているセットアップにこのサブウーファーを適合させる’ (8-9 ページ) をご覧ください。
- ‘スピーカーシステムを接続する’ (6-7 ページ) で説明されている通りに、各スピーカーを接続します。
- システム全体を、改めて電源につなぎます。

### 警告

- このガイドで説明されている通りにサブウーファーが設置され、接続されていることを確認してください。事故や怪我を避けるため、スタンドと壁掛けブラケットは、Bang & Olufsen 認定品のみを使ってください。
- このサブウーファーのスイッチを完全にオフにするには、電源コードをコンセントから抜く必要があります。
- このサブウーファーのユニット間の空間は、絶対にふさがないでください。
- このサブウーファーは、一般家庭の室内で使うよう設計されています。通常の湿度と、摂氏 10 度から 40 度の温度が保てる環境でお使いください。
- セットアップを終えたすべてのスピーカーは、それぞれを電源に接続する必要があります。全スピーカーを同時にオンとするため、各スピーカーは、常に電源に接続しておくように設計されています。
- このサブウーファーは、絶対に分解しないでください。点検や修理は、サービス技術者にお任せください。



製品情報ラベルが貼られている位置サブウーファーのカバーを外す作業は、本体を傷つける恐れがあるので、専門のサービス員にお任せください。



安全のため、電源ケーブルは、電源コードブラケットの裏に**必ず**固定してください。

電源コード: 付属の電源コードとプラグは、この製品専用に設計されています。もしこのプラグに改造を加えたり、電源コードを傷つけたりすると、新しい物を Bang & Olufsen 販売店から購入しなければいけません!

## スピーカーシステムを接続する

Bang & OlufsenのPower Linkケーブルを使い、サブウーファーをお使いのシステムに接続します。

このサブウーファーのソケットパネルは、製品の裏側にあります。5ページをご覧ください。

お使いのBang & Olufsenシステムに含まれる他のスピーカーなどに関する詳しい情報は、それぞれの製品に付属のガイドをご覧ください。

### スピーカーの接続

このページと次のページで、2種類のセットアップ例を説明します。

#### サラウンドシステム:

メインとなるBang & Olufsenシステムには、このサブウーファー専用の端子があるので、他の全スピーカーと合わせシステムにそのまま接続します。

- > ケーブルの片側を、このサブウーファーのPOWER LINK INと書かれた端子に接続し、もう片側を、Bang & Olufsenシステムのサブウーファー専用端子に接続します。
- > 他のスピーカーを、Bang & Olufsenシステムのスピーカー端子に接続します。
- > EXT. BASS MANAGEMENTを選択します。詳しくは9ページをご覧ください。

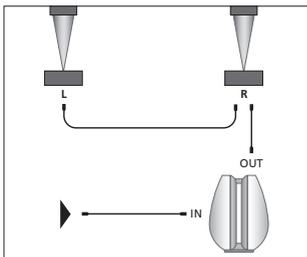
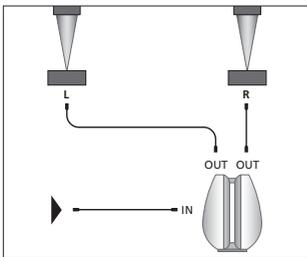
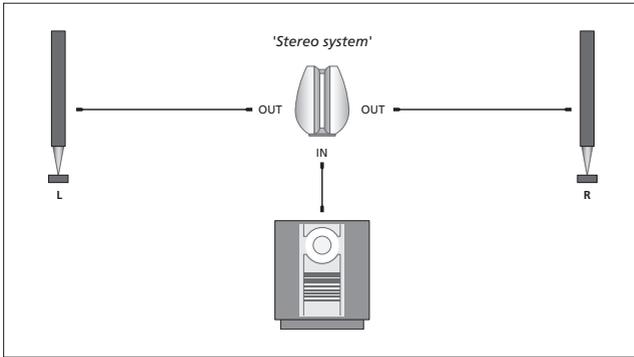
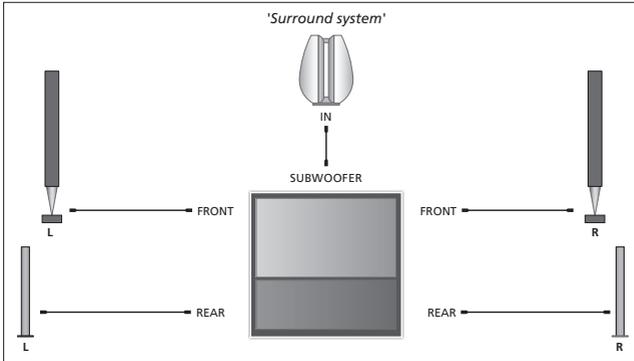
### ステレオシステム:

右と左のスピーカーを、このサブウーファーに接続したあと、このサブウーファーをBang & Olufsenシステムに接続します。

- > ケーブルの片側を、このサブウーファーのPOWER LINK INと書かれた端子に接続し、もう片側を、Bang & Olufsenシステムのスピーカー端子の1つに接続します。
- > このサブウーファーのPOWER LINK OUTと書かれた端子に、他のスピーカーを接続します。
- > INT. BASS MANAGEMENTを選択します。詳しくは9ページをご覧ください。

### 電源への接続

付属の電源ケーブルを、~の印がついた端子に接続します。



スピーカーからスピーカーへのケーブルを処理する: フロントスピーカーからこのサブウーファーへ、複数の接続ケーブルが伸びてしまうの避けるため、スピーカーからスピーカへとケーブルを送っていくことができます。

このサブウーファーの設置は、たいへん簡単です。比較的小さなサイズによって、どんなインテリアにもフィットしますし、室内のほとんどの場所に柔軟に置けます。

最も自然な再生音を得るため、このサブウーファーは、リスニングポジションから見て部屋の前方となる床面に置いてください。

### POWERLINKとLINEスイッチをセットする

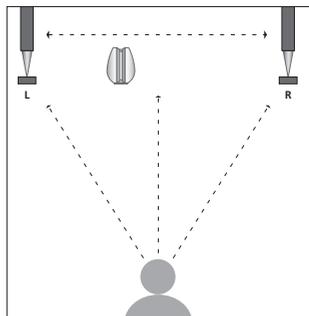
このスイッチを使い、システムをセットアップします。

…Bang & Olufsen 製のシステムの場合:

Bang & Olufsen の Power Link ケーブルを使い、サブウーファーをシステムに接続します。スイッチは POWER LINK にセットしてください。

…Bang & Olufsen 製ではないシステムの場合:

片側が RCA ピン/ミニジャック、反対側が DIN プラグとなっている特製のケーブルを使います(オプションとして、Bang & Olufsen 販売店から購入できます)。スイッチは LINE にセットしてください。



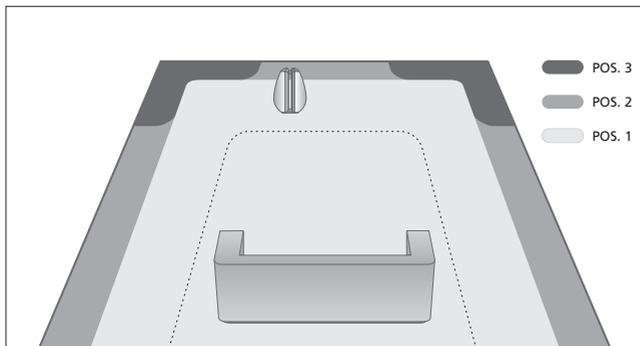
このサブウーファーは、リスニングポジションからの距離がフロントのスピーカー、つまり左、(センター)、右とほぼ同じになるよう設置するのが理想的です。もし可能であれば、2本のフロントスピーカーの間に設置してください。

### -dB/0dBスイッチをセットする

-dB/0dBスイッチは、接続された BeoLab スピーカーの感度に、このサブウーファーの出力を適合させるため使います。

このサブウーファーを BeoLab 4 PC と接続する場合のみ、このスイッチを -dB にセットしてください。

他のすべてのスピーカーは、0dB にセットします。



リスニングポジションの後方には、このサブウーファーを絶対に設置しないでください。左の図の点線で囲まれた範囲内には、スピーカーを設置しないようお勧めします。

### EXT. および INT. BASS MANAGEMENT スイッチをセットする

セットアップに応じ、低域の処理方法を設定する必要があります。

- このサブウーファーが、サブウーファー専用端子に接続されており、サブウーファー本体に他のスピーカーが接続されていない場合は、EXT. BASS MANAGEMENT にセットします。
- このサブウーファー本体に、他のスピーカーがじかに接続されている場合は、INT. BASS MANAGEMENT にセットします。

### POS. スイッチをセットする

このサブウーファーを、部屋の中央ではなくコーナなどに設置する場合は、より自然な低音が得られるようポジションスイッチをセットします。

POS. スイッチのセッティングは、このサブウーファーに近接している(約50cm以内)平面の数によって変わります。

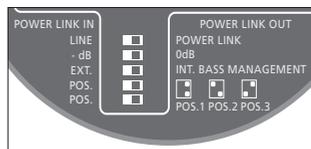
POS. スイッチは、3つの設定が選べます:

POS.1: サブウーファーの近くに、平面が1つだけある場合(室内中央の床面に置かれている、または壁掛けの場合を含む)。上のイラストでは、ライトグレーに塗られたエリアとなります。

POS.2: サブウーファーの近くに、平面が2つある場合(左右どちらかの壁面近くの、床面に置かれている場合)。上のイラストでは、やや濃いグレーに塗られたエリアとなります。

POS.3: サブウーファーの近くに、平面が3つある場合(部屋のコーナーの床面に置かれている場合)。上のイラストでは、ダークグレーに塗られたエリアとなります。

設置場所に応じて、POS. スイッチをセットします。お好みのサウンドを得る目的で、POS. スイッチを上記3つのポジションのいずれかにセットすることもできます。



設置場所に応じて、POS. スイッチをセットします。

**このサブウーファーを、BeoLab 4と  
組み合わせる場合**

できるだけPower Linkケーブルを使用し、POWER LINKスイッチをLEFTまたはRIGHTにセットしてください。ミニジャックケーブルを使用する場合は、LINE INスイッチをLINEにセットしてください。PCにはセットしないでください。

サブウーファーのスイッチを、0dBにセットしてください。

**注意！** 接続するスピーカーがBeoLab 4 PCでない限り、このサブウーファーのスイッチを-dBにセットしないでください。

**電気・電子機器の廃棄(WEEE) - 環境保護対策**



左に示したマークが付けられている電子機器や電子部品、および電池を、通常の家ごみと一緒に処分してはいけません。すべての電子機器や電子部品、および電池は、別個に収集され、処分される必要があります。各地域で有効な回収手段を利用することが、環境や人々の健康の保護、資源の有効活用に役立ちます。電気器具や電子機器、

および電池の廃棄物を回収することにより、機器に含まれる有害物質による汚染を未然に防ぐことができます。

各地域での正しい廃棄方法については、Bang & Olufsen販売店にご相談ください。

左のマークが付けられないほど小さな製品については、ユーザーガイド、保証書、あるいはパッケージに、このマークが付けられています。



本製品は、指令2004/108/ECおよび2006/95/ECに規定されたすべての条件を満たしています。

すべてのBang & Olufsen製品は、世界各国で定められた環境保護関連の法令に準拠しています。

技術仕様や機能、および使用方法は、事前の予告なく変更される場合があります。

